

1/16 インド・政策研究センター所長プラタープ・バーヌ・メータ講演会 岐路に立つインドーインド政治・経済の潮目を読む

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、1月16日に、インド・政策研究センター所長のプラタープ・バーヌ・メータ氏による講演会「岐路に立つインドーインド政治・経済の潮目を読む」を開催します。2014年春に予定されているインド連邦会議下院の総選挙まで半年を切り、予測不可能な混戦が続く中、インド政治の行方に世界が注目しています。本講演では、インド屈指のシンクタンク所長であり、メディアでの論考も多いメータ氏に、2期10年間に及んだ、マンモハン・シン首相率いるインド国民会議派政権の総括をしていただくと同時に、来る総選挙に対する見解と、それが意味するものについてお話しいただきます。また、岐路に立つインド政治が、今後同国の外交や経済に与える影響について、日本との関連にも触れながら、現在のインドの立ち位置について巨視的な観点からお話しいただきます。

講師：プラタープ・バーヌ・メータ（政策研究センター所長）

Pratap Bhanu Mehta (President of Centre for Policy Research)

コメンテーター&モデレーター：

藤原 帰一（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

日時：2014年1月16日（木）午後6時30分～

会場：国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール

定員：200名

用語：英語／日本語（同時通訳付き）

共催：国際文化会館

■プラタープ・バーヌ・メータ■ インドで最も権威のある民間シンクタンクの一つ、政策研究センターの所長。研究分野は政治理論、憲法、インドの社会・政治、ガバナンス、政治経済学、国際情勢などで、ハーバード大学やニューヨーク大学の客員教授、インドのジャワハルラール・ネルー大学の教授などを歴任。国家安全諮問委員会やインド国家知識委員会の役員も兼任。2012年に21世紀のインドの外交国防政策の基本原則を提示した報告書『Non-Alignment 2.0』の作成者8名のうちの1人。主著に『The Burden of Democracy』（Penguin 2003）など。インディアン・エクスプレス紙の客員論説委員や数多くのジャーナルで編集委員も務める。プリンストン大学で政治学の博士号を取得。2010年にはMalcolm Adiseshiah賞を、2011年にはインフォシス社会学・政治学賞を受賞。



申込は、<http://www.jpff.go.jp/j/intel/new/1311/11-03.html> から承ります。

【問い合わせ】日本研究・知的交流部アジア・大洋州チーム 担当：八木

電話：03-5369-6070